

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6 赤	7	8	9	10 子 陶芸
■昭和100年記念展(～1/6まで)						
11 英 カレードシネマ	12	13 赤 シフォンケーキ料理教室	14	15	16	17 子 陶芸
18 子 料理教室 ボードゲーム体験会	19	20 赤 シフォンケーキ料理教室	21	22	23	24 子 みそづくり体験会
25 子 かがく実験教室 みそづくり体験会	26	27	28	29	30	31 子 陶芸

＊おはなし会情報＊

会場：児童コーナー(パオ)

時間：10:30～11:00

参加無料・申込不要

赤 あかちゃんおはなし会

＊第1火曜日

＊第2火曜日

＊第3火曜日

子 こどもおはなし会

＊毎週土曜日

＊第3日曜日

＊第4日曜日(隔月開催)

英 えいごのおはなし会

＊第2日曜日

図書館展示情報

一般展示

本で振り返る2025年 本で先取る2026年

児童展示

お正月のほん

あなたにとって2025年はどんな1年でしたか？

大阪・関西万博の開催や初の女性首相誕生など様々な出来事が世間を賑わせました。

また、2025年は「昭和100年」「戦後80年」の節目でもあります。そんな2025年を振り返ることができる本を集めてみました。

そして、2026年も本で先取りしちゃいましょう！

YA展示

1人暮らし応援展示

新年が明け、新生活がすぐそこまで迫っている時期になりました。新年度が始まると1人暮らしを始める人も多いかと思います。

今回の展示では、1人暮らし経験者2名が1人暮らしに役立つライフハックや気を付ける事などを紹介します。1人暮らしを始める人も、将来する予定のある人も、しない人にも役立つ知識を見つけることができるかもしれません。

夢の新生活に向けて、ここで準備をしていきませんか？

このほか館内の様々な場所でも展示をしています。

ぜひこの機会にお立ち寄りいただき、色んな本と出会ってください♪

最新情報はコチラから！

1X(旧Twitter)

↑Facebook

野々市市立図書館 野々市市民学習センター

学びの杜 ののいちカレード

【開館時間】 9:00～22:00

【休館日】 毎週水曜日
年末年始(12/29～1/3)
特別整理期間

〒921-8845

石川県野々市市太平寺4丁目156番地

TEL：076-248-8099

FAX：076-248-8175

HP | <https://www.kaleido-nono1.jp>

HPのQRコードはこちら↓

1月 カレードイベント情報！

カレードシネマ

『coda あいのうた』

日時／1月11日⑩

開場：13:00～ 受付開始

開始：13:30～16:00 ブックトーク、その後上映会

会場／研修室・会議室 定員／50名(当日先着順)

時間／112分 製作／2021年

高校生のルビーは、家族の中で1人だけ耳が聞こえる。家族のために彼女は幼い頃から“通訳者”となり、家業を毎日手伝っていた。新学期、合唱クラブの顧問がルビーの歌の才能に気づき、都会の名門音楽大学の受験を勧めるが…。

ごいたで遊ぼう！

ボードゲーム体験会

日時／1月18日⑩ 14:00～16:00

会場／研修室・会議室

対象／7歳以上

定員／8名(先着順)

申込み方法／カレードにご来館、またはお電話で

能登町発祥のボードゲーム「ごいた」を使って遊ぼう！

子どもから大人まで楽しめます♪

えんどころのシフォンケーキ料理教室

日時／1月20日⑩、2月3日⑩、2月17日⑩

各回13:00～15:00

※各日とも同じ内容です。

定員／各回4名(大人)

会場／キッチンスタジオ

参加費／1,200円

持ち物／エプロン、三角巾、タオル、マスク、飲み物

申込み／カレードにご来館、またはお電話で

12月 イベント報告

昭和100年記念「チラシに見るくらしの移り変わり」開催！

12月12日より、オープンギャラリー・市民展示室にて『昭和100年記念「チラシに見るくらしの移り変わり』を開催。

かつて県内に存在した映画館、スーパー、デパート、喫茶店、遊園地や動物園、県内で開催された各種博覧会などを紹介。たくさんの方に

ご来場いただきました。

展示は1月6日⑩まで開催していますので、ぜひご覧ください。

今月のおすすめ本

『黒牢城 Arioka Citadel case』

著者：米澤穂信 出版社：KADOKAWA 分類ラベル：F/3㌵

戦国時代×安楽椅子探偵！米澤穂信が描く、新感覚の歴史ミステリです。

舞台は本能寺の変から4年前、荒木村重が織田信長に叛旗を翻し、有岡城に籠城するところから始まります。そこへ説得に現れたのは、織田方の智将・黒田官兵衛。しかし、官兵衛との対立を恐れた村重は、彼を有岡城の土牢に捕らえてしまいます。

それからすぐのこと、城内で奇妙な殺人事件が起きました。現場は完全な密室、おまけに凶器と思われる矢が忽然と消えて…。疑念や不満が膨らめば、城が落ちる要因になる。そう考えた村重は、牢に捕らえた官兵衛の頭脳を頼ることにします。

本書は、「歴史小説は難しい」というイメージを大きく覆された作品です。史実に基づきながらも、話は城内での謎解きを軸に進むので、歴史の知識が乏しい私でもすらすらと読めました。それなのに、歴史小説が持つ特有の世界観にはどっぷりと浸れてしまいます。特に、多くは語らずとも頭の切れる主人公・村重が、国主として静かな威厳を放つ描写がとても魅力的なので、ぜひご注目ください！

ミステリ好きにはもちろん、歴史小説デビューしたい方にもおすすめの一冊です。(スタッフS)

こちらの本は、カレードに2冊所蔵しています。